

着こなしの要は、常に足元。

## じつは、靴から始まるジャケットのおしゃれ

ジャケットが時代とともに進化してきたように、靴においてもさまざまなデザインが生み出され、いま私たちが楽しめる着こなしの幅はぐんと広がりました。ロイヤルやセレブたちも嗜む、「靴とジャケットのおしゃれ」の最旬の魅力を、服飾史家の中野香織さんと考察します。



### Queen Letizia

ジャケットと靴で質感を合わせたおしゃれ上級者の着こなし。落ち着いたカラーのアイテムで統一した装いのスペインのレティシア王妃。ジャケットと足元のローファーをレザーで合わせ、カジュアルながらもリラックスしたエレガンスが漂います。



### Princess Catherine

ジャケットのディテールと足元でブラックをリンク。白のジャケットに同色のスカートを含ませたキャサリン妃のワントーンコーデ。パンプスはリボンのあしらいや細いヒールが可憐なムード。黒色がジャケットのバイピングとリンクしています。



### Princess Diana

ホワイト×ネイビーのコンビネーションが爽やか。1987年5月、カンヌ国際映画祭にて、ネイビーのストライプ柄とバルーンスカートが印象的なドレスに、白いジャケットを含ませて登場したダイアナ元妃。パンプスもバイカラーで統一。

ジャケットと靴で表現する  
新鮮な、不協和音を  
自由な感覚で楽しんで  
文・中野香織

クラシックな定番から袖のないデザイン、マント風、柄ものまで多彩に揃う今シーズンのジャケットですが、スタイルの印象を決めるのが、ジャケットに合わせる靴です。「女性が一瞬で変身しようと思えば、靴がもっとも手っ取り早い手段となる」。靴がジャケットの雰囲気のみならず、女性の雰囲気全体まで変えてしまうことは、靴デザイナー界の巨匠、マノロ・ブランカの有名な言葉からもわかります。マエストロにそこまで言われ、では今シーズンはどんな靴が浮上しているのかと概観しますと、これまたジャケット以上に選択肢が多岐にわたります。モップ靴のような、掃除のためかと邪推したくなる奇抜な靴も登場しておりますが、私たちがとって現実味のありそうな靴のトレンドをピックアップし、大きく5つに分類したものを紹介します。

その1はつま先、肌見せ。「マノロ・ブランカ」は肌の見える面積を広げたデザインで目を引き、「ルイ・ヴィトン」は親指だけを見せるという目新しい見せ方で視線を奪います。その2は、メンズライク。男性用シニーズブランドの「ジョン・ロフ」が女性用のモデルを出しているこ、

とを筆頭に、「クロエ」「クリスチャ  
ンルプタン」もハンサムなシューズ  
を提案。新時代を感じさせます。

その3は、キトウンヒールです。

「ディオール」「プラダ」「ジミーチュ  
ウ」「ヴァレンティノ」といった「婦  
人画報」読者にもファンが多いブラ  
ンドが、ハイヒールに代わり小さな  
ヒールの靴を提案しています。

その4は、キラキラ輝く装飾付き  
のローヒールやバレエフラット。「シャ  
ネル」や「ジャンヴィト・ロッシ」  
がミラーやクリスタル装飾などで光  
を反射する靴を出しています。

その5は、斬新なハイブリッド。  
「トックス」は、伝統的なローファー  
とミュールを合体させた、ミュール  
ローファーのような新感覚のシュー  
ズを提案しています。

もちろん、根強い人気に支えられ  
た定番スタイルであるミドルヒール  
のポンプスやスタンダードなロー  
ファーも広く流通します。新しいト  
レンドも視野に入れた、かくも多様  
なデザインの中から選んだ靴と  
ジャケットとの組み合わせの妙を見  
せることこそ、今シーズンのセンス  
の見せどころでありましょう。

20世紀までは、靴とジャケットの  
方向性が揃い、全身でバランスがと  
れていることが王道的な正解とし  
ていた。たとえばダイアナ妃のように、  
白いブレザーにネイビー×白のドレ  
スを合わせるならば、靴もその二色  
を使ったポンプスを選ぶ。あるいは

## LEATHER SHOES

ひと捻りあるデザインで装いをモダンにアップデート



**Julia Roberts**

装いを引き締めるアクセント  
クリームイエローのパンツ  
スーツに、ヒールのあるレ  
スアップシューズを黒肌に見  
て、新鮮にスタイリングし  
たジュリア・ロバーツ。足  
元のブラックレザーがアク  
セントとなり、コーディネート  
全体を引き締めています。



**Cate Blanchett**

足元のボリューム感が鍵  
ケイト・ブランシェットは、一  
見シンプルなコーディネート  
ながら、足元にボリュームの  
ある厚底ローファーをプ  
ラスすることで、モダンな装  
いを完成。オーバーサイズ  
ジャケットが、彼女のクールな  
魅力を引き立てています。



**Olivia Palermo**

ユニークな色&素材使い  
ベロア生地に全色の刺繍  
があしらわれたセットアップ  
を着こなすオリヴィア・パ  
レルモ。足元はバイカラーの  
異素材ミックスがユニーク  
なローファー。存在感のある  
アイテム同士の組み合わせ  
に、遊び心が溢れます。



**Naomi Watts**

編み目模様がソフトな印象  
ナオミ・ワッツは真っ白な  
ジャケットを、光沢ある生  
地とドレープがドレスシー  
な黒のドレスとスタイリ  
ング。コーディネートにやわ  
らかなニュアンスを添える  
のは、繊細な編み目模様  
が施されたポンプスです。



**Amal Clooney**

クリア素材で引き算  
アマル・クローニーの、正統  
派ジャケットに鮮やかな赤  
のパンツを合わせた装い。  
異素材切り替えがモダン  
な印象のポンプスは、ク  
リア素材が抜け感を演出。  
彼女らしく、洗練された美  
こなしに仕上げられています。



**Angelina Jolie**

ヌーディーピンクがポイント  
柔らかな黒のロングワ  
ンピースの上に、同色のシ  
ンプルなジャケットをさらり  
と羽織ったアンジェリーナ・  
ジョリー。スカートの裾から  
覗くヌーディーピンクのパン  
プスが、コーディネートに優  
しい雰囲気をもたらしています。

キヤサリン妃のようにジャケットと  
同色のボトムを選び、アクセントカ  
ラーをリンクさせて引き締める。ま  
た、レティシア王妃のように同色系  
のグラデーションで全身をまとめる。

こうしたクラシックなロイヤル  
スタイルの魅力は今も色褪せることは  
ありません。ただ、模範解答的な装  
いから自由に羽ばたく楽しさを表現  
することが魅力になるのも、あらゆる  
制約から自由に解放されている  
(はずの) 21世紀の現代ならではの。  
パステルカラーやフェミニンなジャ  
ケットに重めのメンズライクなロー  
ファーを合わせる、カジュアルなジャ  
ケットに正統派のハイヒールを合わ  
せるなど、ジャケットと靴の方向性  
を合わせないことで生まれる。不協  
和音。を楽しむ自由な感覚とでもい  
いましょうか。新鮮な。不協和音。  
をエレガントな笑顔やくつろいだ表  
情でさらりと表現できる大胆さが魅  
力となるのが、現代の面白さです。  
「素敵な靴は素敵な場所へあなた  
を連れて行ってくれる」という昔か  
らの言い伝えをもじるならば、「意  
外性のある靴とジャケットは、予想  
外の素敵な場所へあなたを連れて  
行ってくれる」予感がいたします。

なかのなかおくり●イギリス文化、ダンディズム史、  
ファッション史、ラグジュアリー領域を専門とする  
独立研究者として執筆・講演を行う。著書に  
「イノベーター」で読む「パレルモ全史」(共著)  
「新・ラグジュアリー文化が生み出す経済10の  
謎」(監修)「時代を変えたミッドウイッチの女王  
マリー・クワント」など多数。ケンブリッジ大学客員  
研究員、明治大学特任教授などを歴任する。